

# Weekly コラム

令和3年5月25日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4号館 4階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

## 活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

## 銀の翼で翔べ

2050年までに脱炭素化を実現することを目指し、バイデン大統領は今後4年間でインフラ再建とクリーンエネルギー分野に2兆ドル(約206兆円)を投資する計画を公約にしました。これは、リーマンショック後の09年の景気刺激策が総額8310億ドル(約83兆円)の2倍以上の金額となります。

真っ先に着手するのは自動車の電化と言われています。バイデン氏は1月20日の就任当日に、自動車の電化を進めるための新たな燃費規制に関する大統領令に署名すると公約しており、担当省庁は速やかに規制策定に移行することになります。またトランプ政権が否定したカリフォルニア州による独自のゼロ排出車基準を再認可して、2035年までに新車販売を排ガスゼロ車のみとする規制構想を後押しする形となります。

もうひとつの主力となるのは電力の脱炭素化で、民主党は5億枚のソーラーパネル、6万基の風力タービンの導入を公約しております。その中でも太陽光発電は、ESGに大きく関係する重要なテーマとみられています。ESGとは、Environment(環境)、Social(社会)、Governance(企業統治)のことで、太陽光発電はこのうち、環境(E)と社会(S)に大きく関係すると考えられています。太陽光発電の電極部分には銀が用いられています。世界の銀需要統計(THE SILVER INSTITUTE)によりますと、2019年の銀需要が約3000トンと、2014年から比べて2倍になりました。10~15cm四方のセルと呼ばれる太陽光パネルには、約2~3グラムの銀が使用されていると言われ

ています。銀の生産国は主に中南米で、1位はメキシコ、2位はペルーとなります。

もともと銀は太陽光発電向けの需要は増加傾向にありましたが、あまり目立ったものではありませんでした。そこにコロナ禍の影響でESGの重要性が世界的に再認識させられた結果、脱炭素化への機運の高まりとともに、長期的視点で需要が増加する可能性が高まったと言えます。昨年のコロナ禍で大きく失われたGDPなどの経済的な成長の積み重ねは、新たな需要を創出しない限りは早急な回復は難しいものと思われます。言い換えますと、今後はESGに沿った新たな需要の発展の仕方次第で、コロナ禍以前よりも発展できる可能性を秘めているといえるのではないのでしょうか。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、

skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。